

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇ENEX2015 展開催 —最新高性能樹脂窓に注目—

## ■随想

◇マラウイ共和国旅行記（4）—マラウイ人—

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

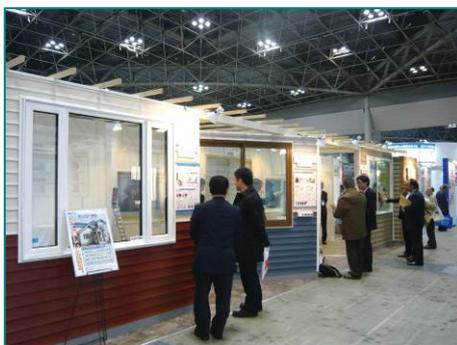
## ■トピックス

## ◇ENEX2015 展開催 —最新高性能樹脂窓に注目—

1月28日～1月30日の3日間、ENEX2015展（（一財）省エネルギーセンター主催）が東京ビッグサイトの東1ホールで開催されました。来場者数は昨年を若干上回り4万7千人となりました。

VECブースは、「日本の窓を良くしたい」をスローガンに、国内主要サッシメーカーの世界基準の最新高性能樹脂窓を壁に嵌め込み実物展示し、内部に内窓、ビニールクロス、フローリング調の長尺塩ビシート、新開発の遮熱ブラインド、外部に、樹脂サイディング、石調の長尺塩ビシートを貼って住宅に塩ビ製品がどれだけ関わっているかも表現したデザインとしました。

樹脂窓については、国内主要メーカーの(株)エクセルシャノン、三協立山(株)三協アルミ社、(株)LIXIL、YKK AP(株)4社のトリプルガラスを用いた高性能の最新製品、省エネ大賞やグッドデザイン賞受賞の製品を展示。内窓は、旭硝子(株)、大信工業(株)、フクビ化学工業(株)、三社の製品を展示しました。さらに、昨年の12月27日に3回目となる「省エネ住宅ポイント制度」の再開が閣議決定されていたことから展示の窓製品には、いずれもこのポイント制度の対象製品であることをキャプションで表示しました。

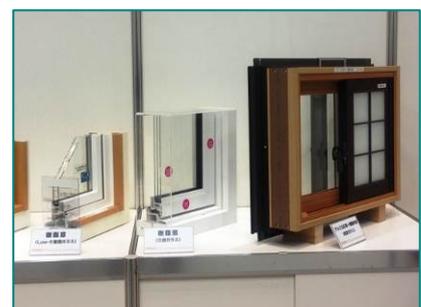


樹脂窓展示



内窓展示

また、経産省の「高性能建材コーナー」では、窓のカットサンプルの展示の他、(1)省エネリフォームでの所得税、固定資産税の減税の制度、(2)建材のトップランナー制度、(3)省エネ住宅ポイント制度の紹介、説明が行われ、樹脂窓の採用、改修を行うことのメリットを更にご理解いただけたと思います。



窓のカットサンプル展示

来場者の中でも、省エネ住宅ポイント制度の利用や省エネ改修を考えておられる方からは、「各社の窓が比較できて参考になった」、「今までこんなにすばらしい窓がなぜ日本に普及しなかったのか？」との意見をいただくなか、実際の施行方法などについての熱心な質問をいただき、対応された各社からの立会者も説明に力が入りました。しかし、一方で、展示されている窓がアルミと思い込んでいる方もおられ、「なぜこれが高性能窓なのか？」との問いも少なくなく、樹脂の断熱性についての基本的な説明に耳を傾けていただく場面もありました。その他、樹脂サイディングや新製品のロールブラインドについても興味を持たれる方も多く、ブラインドのような新しい建材製品に対し「もっと売れる商品にするために一緒に開発していきたい」という建材メーカーの方からのご意見もございました。

最後になりますが、こうした機会を利用させていただき、今後とも樹脂窓などの省エネ建材の普及促進に努めていきたいと考えています。

## ■ 随想

### ◇マラウイ共和国旅行記（４）－マラウイ人－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

マラウイ人、アフリカの中でも飛び抜けて人がいいかもしれません。

比較的治安がいいと言われているマラウイ共和国、日中はよほど金持ち外国人旅行者のような恰好をしていると別でしょうけど、どこを歩いても身の危険を感じるようなことはありません。もちろん、日本ほど治安がいいわけではなく、夜は旅行者が強盗やひったくりに合うなど街歩きは危険とされ、特に外国人旅行者はタクシーを利用するようにとマラウイ政府からも通達が出ています。

ホテルや外国人、お金持ちが住む場所は高い壁に囲まれ、門は分厚い鉄製。もちろん門番も兼ねたガードマンが常駐し、敷地内に番犬を買っている家も沢山あります。この番犬、たまには敷地の外に抜け出すこともあるようですが、家に戻ってきた際、鉄製の扉を前足で器用にノックし、門番の人に扉を開けてもらっている姿をあちらこちらで見ました。犬も郷に入れば郷に従えというようになるのですね。

市内の銀行はもとより、街中にある ATM 機にも必ず警備の人が付いています。銀行や ATM に現金輸送車が着いた時は、いつでも撃てる体制でマシンガンを構えたガードマンが守る中、お金の積み下ろしをしており、まるで映画の世界です。

このように、治安がいいのか悪いのか、ちょっと悩んでしまうマラウイ共和国ですが、普通の人たちはものすごくフレンドリーです。特に田舎に行くと、アジア人が珍しいということもあるのですが、前から来る人はもとより、道路沿いのお店の人や買い物客までもがほとんどみんな挨拶の声をかけてきたり、手を振ってきたりするので、無視することもできず、歩くときは「Hi」「Hello」「How are you」などと言っぱなし、手を振りっぱなし。屋外で開業している美容院の前を通ると、髪をセットしてもらっている人が、屋台の前を通ると、食事をしている人たちも手を振って声をかけてきます。

大人でもこの状態ですから子どもはもっとフレンドリー。うっかり下校時間にでも当たろうものなら、小学生なら一躍ヒーローに。握手や手のひらをパチンと合わせる挨拶をしようとする子どもたちでもみくちゃんにされ、何とか挨拶が終わり、歩き出すと、その後ろをゾロゾロと付いてくるので、修学旅行の引率の先生のような状態になります。中学生は興味津々の大質問大会になり、その場から立ち去ることが難しくなります (～～)；

場所によってはのんびり挨拶をしていると太鼓や笛を打ち鳴らし、歓迎の儀式が始まります。こうなると、時間があるがなかろうが、必ず参加。一緒に手拍子をしながら踊りの輪に加わり、初めてのリズムで、どんな意味があるのかよくわからないダンスを踊ることに。

某村で、調子に乗って踊っていたら、その節回しは結婚を申し込む節回しだったらしく、知らない間に村の女性に求婚をしたことになっていました (@\_@)

踊りの後、彼女への結納は何にすると聞かれ、初めて求婚のダンスだったことが分かりました。もちろん、これは村の人たちの冗談で、本当に求婚をしたわけではありませんが、周りにいた男性たちも大はしゃぎで女性を紹介してくれます。あの女性は腰回りが豊かだから子どもをたくさん産むぞ。この女性は働き者だぞ。こっちの女性は村一番の美女だぞ。さあ、どれを選ぶ？

このようにお茶目な人も沢山います (^o^)

最近、アフリカも発展し、未開という言葉はあてはまらなくなりました。しかし、貧富の差ははっきりと残っています。所謂、上流・中の上・中流までの人の生活は日本とほとんど差はありません。家には上水道、電気、電話（携帯電話場合も多い）、インターネットが完備し、エアコンがあり、多くの人が日本の中古車でしょうが日本製の車を所有しています。ところが、中の下に相当するような階層がほとんどなく、中流の次は、いきなり貧困になるという、大きな格差があります。貧困と言っても、日々の食べるのに困るといふ人はそれほど多くなく、日本人や欧米人が考える文化的生活を享受していない人たちと言えるかもしれません。

ここでは貧困と表現していますが、そこで生活をしている人たちと話をしていると、みなさん、それなりに満足をした生活をしておられます。もちろん、病気になった時の医療費の支払い、子どもの教育費などの不安がないわけではありませんが、日々の生活はそれなりに完結をしています。それでは、文化的生活を知ってしまった私にそれなりに満足をしている彼らと同じ生活ができるのかと言われるとちょっと自信はありませんが、現在の人間関係を全て断ち切ることができれば、住んでいる地域だけという、究めて限られた世界の中での生活になりますが、やっていけそうな気がします。

貧困層のさらに下に、所謂、乞食と呼ばれる人もいます。日中はいいとしても、夜から朝にかけての気温がかなり下がる時間帯をどのようにして過ごしているのでしょうか？

生活の知恵なのか、誰が教えたのかは分かりませんが、子どもの乞食の中には流暢な英語を話す人も何人かいます。ただ、「I am hungry」「I don't have any food」などの定型文だけを話せるのかと思ったら、普通に会話ができちゃいました。普段の会話は Chichewa で行っているはずなので、どこであれだけの流暢な英語を習ったのか、不思議でなりません。



(つづく)

次回は、(5) マラウイごはんです。

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

今年もつらい花粉の季節が始まります。私はスギ・ヒノキと幅広く反応するので、ゴールデンウィークの頃までの長期間マスクと薬が手放せなくなります。体を守ってくれる免疫機能が、逆に私たちを苦しめるとは何とも皮肉な話しです。

花粉の季節に沖縄へ行って、マスク無しで快適に過ごせた経験は忘れられません。無花粉のスギ品種が開発され、一部植林も始まっているようですが、その恩恵にあずかるのは孫の世代でしょうか。(ヨッシー)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)